

令和6年12月17日

久留米市議会議長 吉富 巧 様

建設常任委員長 吉武 憲治

委員派遣実施報告書

本委員会は、次のとおり委員派遣を実施しましたので、報告書を提出します。

記

- 1 日程 令和6年11月5日（火）～7日（木）
- 2 派遣先及び内容 静岡県浜松市 : Park-PFI 制度に基づく万斛庄屋公園利活用運営事業について
愛知県名古屋市 : 空見スラッジリサイクルセンターについて
- 3 派遣委員

委員長	吉武 憲治
副委員長	堺 太一郎
委員	中村 博俊、生野 薫、石田 眞一郎、小林 ときこ、 山田 貴生、田住 和也、田中 貴子
- 4 報告書 視察報告書のとおり
- 5 その他 随行 立石 英彰

視察報告書

委員会名	建設常任委員会
視察日時	令和 6 年 11 月 5 日（火） 午後 2 時 30 分 ～ 午後 4 時
視察先・概要	静岡県浜松市 人口：約 77 万 5 千人 面積： 1,558.11 k m ² 特記事項：政令指定都市
視察内容	Park-PFI 制度に基づく万斛庄屋公園利活用運営事業について
選定理由	本市同様、Park-PFI 制度を活用している静岡県浜松市において、市民の利用向上を目指した地域密着型の取組を学ぶことで、本市における同事業の取組の参考とするため。
調査概要	浜松市内の万斛庄屋公園にて、都市整備部中村部長の挨拶に引き続き、万斛庄屋公園利活用運営事業についての説明を聴取し、質疑応答を行った。その後、現地視察を行った。
調査内容	浜松市は平成 18 年から市内の 31 公園において、指定管理者制度を導入しており、平成 28 年には浜松城公園にて設置管理許可制度により、スターバックスコーヒージャパン（株）がカフェを出店している。 しかし、市民モニターアンケートにて公園の利用頻度を調査したところ、地元市民の利用頻度が低いことが課題となった。 そこで浜松市では、民間活力を導入しつつ地元市民に利用してもらえる公園施設を検討し、Park-PFI 制度を活用することが最適であると判断、民間事業者の公募を実施した。令和 3 年に、選定委員会による選定の結果「松川電気株式会社」が事業者に決定し、万斛庄屋公園利活用運営事業が開始した。 万斛庄屋公園の面積は 14,141.32 m²で、近隣公園に分類される。 元となる土地は平成 22 年に既存建造物を含めて浜松市へ寄附されており、公園の少ない地域であったことから、地域住民からは公園としての活用が望まれていた。また既存の建造物は老朽化のため解体する計画であったが、歴史的な建造物であることから地域住民による熱烈的な存続要望があり、浜松市が事業を公募する際には公園施設として利活用する旨が加えられた。 事業者を選定された松川電気株式会社も、地域住民と協働し、地域に貢献する趣旨を掲げ事業に取り組んでいる。具体的な内容としては、公園内に既存建造物を修復した古民家レストラン（鈴松庵）を設置し、レストラン以外の建物もコミュニケーションスペースとして貸出している。また、各種イベントを開

催して地域住民が集う場としている。さらには、事業者が既存の建造物の修復に力を入れた結果、一部の建造物（弓道場）については令和6年度に、国登録有形文化財として登録する旨が、文部科学省に答申されることとなった。

古民家レストランも来店者数が一定数あり、メディア等で好意的に取り上げられていることから行政と民間、市民の3者が一丸となり実現した事業であった。

今後は、事業者は当初の事業提案書に沿った適切な運営を続け、市は同公園の価値向上に向けて、協力・調整を図ることとしている。



<視察の様子：浜松市>

主な質問・
応答

問：公園内の高木の剪定はどこが行うのか。

答：市が負担して剪定している。

問：公園に防災機能は備えているのか。

答：公園の提案書には防災機能の記載はない。市も防災機能は求めている。他の公園では、防災機能を備えた公園もある。

問：市の管理予算はどれほどか。

答：公園周辺は市が管理している。草刈りは公園愛護会が行っており、平米当たり20円、7～8万円を報奨金としている。

市はトイレの掃除、除草などに200万円ほどの予算を組んでいる。いずれは指定管理としたいと考えている。仮に今から公募するならば、公園管理も公募の条件につけたい。

問：PFI 制度の期間が終了し、松川電気が施設を手放す場合、公園の管理はどうするのか。

答：市、地元どちらへの寄附も市は認める方向である。建物を解体することは考えていない。

問：公園での行事、イベントなどでキッチンカーを活用する話は出ているか。

答：キッチンカーの話は出ているが、当施設が飲食店であるため検討はしていない。他の公園ではキッチンカーによるイベントを行っている。

問：公園の防犯、警備はどのようにしているのか。

答：建物は管理会社が警備会社へ依頼している。市としては、公園の防犯対策はしていない。



<集合写真：万斛庄屋敷 鈴松庵 にて>

その他（意見・感想）

地域住民は、建造物を存続させるために NPO 法人を設立し、資金集めを行うなど、地域のために建造物を残したいという熱意が伝わってきた。事業者となった松川電気株式会社も、そのような地元の熱意を酌み取った事業を行っており、民間活力の大きさが伺い知れた。

浜松市と、熱意のある地域住民と、地域住民の思いに応えようとする民間との 3 者による本事業の実現は、本市においても参考となる取組事例であった。

視察報告書

委員会名	建設常任委員会
視察日時	令和 6 年 11 月 6 日（水） 午後 2 時 00 分 ～ 午後 3 時 30 分
視察先・概要	愛知県名古屋市 人口：約 233 万 1 千人 面積：326.46 k m ² 特記事項：政令指定都市・中枢中核都市
視察内容	空見スラッジリサイクルセンターについて
選定理由	愛知県名古屋市の空見（そらみ）スラッジリサイクルセンターでは、バイオマスエネルギーを有効活用し、温室効果ガスの削減に貢献している。本市でも、環境負荷低減に向けて、省エネルギーを目的とした施設の改修などに取り組んでおり、更なる環境配慮活動の参考とするため。
調査概要	名古屋市内にある空見スラッジリサイクルセンターにて、技術本部施設部 南部水処理事務所 安田所長の挨拶に引き続き、施設管理課 木村課長から、空見スラッジリサイクルセンターについて説明を聴取し、質疑応答を行った。その後、現地視察を行った。
調査内容	空見スラッジリサイクルセンターが稼働を始めた平成 25 年当時は、下水汚泥の焼却により発生した焼却灰をセメント原料として再利用していた。令和 2 年度からは、下水汚泥から固形燃料化物を製造し、石炭等の代替燃料として利用することで、バイオマスエネルギーとしての有効利用及び、温室効果ガス排出量の削減に寄与している。 同センターでは、一日約 50 トンの固形燃料化物を生産しており、温室効果ガスの削減量は年間約 12,000 トンである。固形燃料化物は、近隣の工場にて石炭の代わりに利用されている。 また、固形燃料化物を製造する工程では都市ガスを用いるが、バイオマス燃料である木チップを使用することで都市ガス使用量を削減している。木チップは建設廃材のほか、剪定枝なども再利用しており、エネルギーを有効活用している。 同施設は、定期的に一般公開しており、地元小学校のからの見学にも応じていることから、市民への環境に対する学びの場としての機能も有している。 今後の展望としては、バイオマスエネルギーとしての有効利用は引き続き行い、利用先の多系統化のために肥料としての活用を検討している。



＜視察の様子：名古屋市＞

主な質問・
応答

問：当施設の市民の認知度はどれほどか、見学会の人数はどれほどか。

答：昨年度は 12 回の見学会を行い 200 名程の来場があった。地元小学校からも要望があれば、見学会を実施している。

問：DBO 方式が途中で変更となることはあるのか。

答：基本的に変更は無い。

問：DBO の年間の委託費用はどれほどか。

答：変動はあるが、年間約 8 億円の 20 年契約である。

問：当施設は何人の職員が従事しているのか。施設の稼働時間はどれほどか。

答：市の職員は 6 名。委託として、固形燃料施設で 13 名、焼却炉で 28 名が従事している。なお、施設は 24 時間 365 日稼働している。

問：地震が発生した場合、施設は停止するのか。

答：当施設は、地震が発生したら停止するシステムとなっている。

問：燃焼炉の燃料は、建設廃材以外にも、剪定枝が使えるのでは無いか。

答：剪定枝も燃焼炉の燃料として使用している。

その他（意見・感想）	地球温暖化対策など、地球環境を守るための取組は重要な課題である。 本市においても市庁舎等の ZEB 化が進められ、省エネルギー化の取り組みが進められているが、同センターにおけるバイオマスエネルギーを生産し有効活用するという、再生エネルギーという視点での取り組みはとても参考になる事例であった。 今後、ますます重要視されてくる地球温暖化対策において、本市における今後の取組の参考にしたい。
-------------------	--